切除不能または再発胆道癌に対するゲムシタビン+シスプラチン再 導入によるゲムシタビン+シスプラチン+デュルバルマブ併用療法 の前向き多施設共同第II相試験(PRIDE試験)JON2306-B

対象となるがん	胆道癌
使用する薬剤	ゲムシタビン、シスプラチン、デュルバルマブ
相	第Ⅱ相試験
治療ライン	二次治療以降
実施方法(治験のデザイン)	I次治療としてゲムシタビン(GEM)+シスプラチン(CDDP)+デュルバルマブ 併用療法(GCD 療法)を行い、デュルバルマブによる維持療法後に不応と なった切除不能または再発胆道癌患者において、GC再導入によるGCD療法 の予後を探索的に評価することを目的とする。
UMIN / jRCT	jRCTs031250085
施設代表者	慶應義塾大学医学部 腫瘍センター 平田賢郎
研究代表者	聖マリアンナ医科大学 臨床腫瘍学講座 砂川 優
進行状況	登録中
臨床試験に 参加いただける 患者さんの身体状況 (患者選択基準)	以下の条件がすべて満たされている方、かつ除外基準に該当しない方 1) I 次治療としてGCD 療法を導入しCDDP を8 回以上投与し、かつ、デュルバルマブ維持療法を I コース以上施行し、不応となった切除不能または再発胆道癌患者。 2) 術後補助化学療法を受けた再発胆道癌については、術後補助化学療法最終投与日から再発確認日までの期間が24 週以上である場合は適格とする。なお、術前化学療法の有無や内容は問わないものとする。 3) 原発巣または転移巣の組織診または細胞診によって、胆道癌(腺癌)と診断されている。 4) 胸部CT および腹部・骨盤CT または腹部・骨盤MRI にて切除不能と診断されている。 5) 登録日の年齢が I 8 歳以上である。 6) 登録時の体重が 30kg 超である。 7) Performance status (PS) はEastern Cooperative Oncology Group (ECOG) の基準で0または I である。 8) 経口摂取が可能である。 9) 登録前 I 4 日以内の最新の検査値が、以下のすべてを満たす。 ① 好中球数≥1,500 /mm3 ② ヘモグロビン≥8.0 g/dL ③ 血小板数≥7.5×10⁴/mm3 ④ 総ビリルビン: 減黄処置なしの場合 :≦2.0 mg/dL、減黄処置ありの場合 :≦3.0 mg/dL ⑤ AST≦100 U/L (肝転移を有する場合は≦150 U/L とする) ⑥ ALT≦100 U/L (肝転移を有する場合は≦150 U/L とする) ⑦ クレアチニン・クリアランス測定値≧40 mL/min、または Cockcroft-Gault 式、もしくはクレアチニン・クリアランス測定値≧40 mL/min、または Cockcroft-Gault 式、もしくはクレアチニン・クリアランス測定 種音の mL/min、または Cockcroft-Gault 式、もしくはクレアチニン・クリアランス測定 音報の mL/min 10) 生命予後が3 か月以上見込まれている。 11) 試験参加について患者本人から文書で同意が得られている。 (注) 上記の患者選択基準は概要であり、上記に該当していてもこの試験に参加できないことがありますので、お問い合わせください。